

みんなの広場

発行 所沢市退職校長会
令和7年6月

令和7年度所沢市退職校長会総会

令和7年4月12日、所沢パークホテルにて令和7年度所沢市退職校長会の総会が行われました。市長の小野塚勝俊氏や教育長の岩間健一氏をはじめ、多くの来賓の方々にご出席いただきました。

定期総会要綱に基づき、慎重審議が行われ、全ての議案が承認されました。退任した佐々木正憲前会長の後任として、鈴木良明副会長が新しい会長に選ばれました。



－会長就任の挨拶－

所沢市退職校長会
会長 鈴木 良明

この度、会長を務めさせていただくことになりました。会報の発刊を始め、さまざまな事業の充実に努められた佐々木正憲前会長の後任としての重責を強く感じております。

さて、各地の退職校長会と同様に、本会におきましても会員の減少や厳しい財政状況等さまざまな課題がありますが、「元気です展」や「歌舞伎鑑賞教室」等、多彩な事業を実施しています。本年度も「親睦と福祉の増進に努める」、「地域の教育振興に寄与する」の目的に基づき、会員の皆様のご支援、ご協力をいただきながら各事業を充実し、本会を更に活性化させて参りたいと存じますので宜しくお願いいたします。



－会長退任のご挨拶－

所沢市退職校長会
前会長 佐々木 正憲

定期総会をもちまして会長を退任いたしました。会員の皆様のご理解、ご協力のおかげで4年間会長を務めることができましたことを厚く御礼申し上げます。振り返ってみますとコロナ禍でほとんどの活動ができない厳しい状況でしたが本部役員の皆様の力と理事の皆様の協力によって多くの事業を復活することができました。

今後は一会員として皆様とともに所沢市退職校長会の発展のお手伝いをさせていただきたいと考えております。これからも鈴木良明新会長のもと、ますますの所沢市退職校長会へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

選ばれた7・8年度の本部役員



副会長
内野正行



副会長
青木章次



副会長
齋藤敏男



幹事長
小島浩司



副幹事長
川音孝夫



庶務幹事
丸山昇



庶務幹事
横須賀邦子



庶務幹事
米澤三子



庶務幹事
村川裕昭



「トコロん学力向上プロジェクト」



○『トコロん学力向上プロジェクト』とは？

「トコロん学力向上プロジェクト」は、「認知能力の向上」、「非認知能力の育成」、「言語活動の充実」の3つを柱として、子どもたち一人一人に「未来を切り拓く力」を育成することを目的としています。「未来を切り拓く力」を育成するために必要と考える力を7つに絞り、示しています。本事業は、これら7つの力の育成を目指すことで、子どもたちの「未来を切り拓く力」を大きく育てていくものです。



○取組は？

「特別指定研究」と「基礎研究」の2つの研究委託を行っています。「特別指定研究」は、「非認知能力の育成」、「読解力の向上」、「英語教育の充実」の3つのテーマで、市内4校に委託しています。各校の研究期間は2年間で、効果検証テストを実施し、客観的な指標を用いて児童生徒の「伸び」を測定することで研究成果を検証し、市内の学校の研究をリードすることをねらいとしています。

また「基礎研究」は、市内すべての小・中学校が3年間のうちに研究年度を決めて取り組みます。各校においては、「未来を切り拓く力の育成」のため、研究テーマを自由に設定し、研究を進めます。研究期間は1年間です。

「トコロんのびのび塾」算数基礎学力向上プロジェクト



○『トコロんのびのび塾』とは？

「トコロんのびのび塾」は、地域の教育力を活用し、所沢市の子どもたちの学力及び学習意欲の向上を図ることを目的としています。

市内の小学校3～6年生児童を対象とし、算数の「数と計算」領域を中心に、中高生や大学生、教職員OB等、幅広い世代や様々な立場のボランティアの方々の協力により、個別の学習支援を充実させ、子どもたちの学ぶ意欲や算数の学力を高めます。令和5年度は教育センターの1会場、令和6年度は市内小中学校やまちづくりセンターの6会場として、開催規模を拡大して実施しました。

参加した児童からは「トコロんのびのび塾のおかげで算数の楽しさが分かった」等の肯定的な感想が多くあり、参加した学習ボランティアからは「将来、教員になった時のイメージをもつことができた」と、将来学校の先生を目指す学生の前向きな感想もありました。



所沢市退職校長会と退職公務員連盟共催による「会員研修会」が、令和7年1月30日に所沢市立教育センターの和室とクッキングルームに於いて実施しました。今回の研修会は、コロナ禍の影響で長らく実施できなかった実技体験型の研修を行いました。

講師は、嶋田恵一朗氏をお迎えし『必勝 嶋田恵一朗流 蕎麦打ち体験』というテーマで、11名の会員の皆様と共に実習しました。嶋田恵一朗氏は、所沢市立小手指中学校、美原中学校の校長を務められ、退職後は所沢市民武道館並びに所沢市民体育館の館長を歴任されました。蕎麦打ちに関しましても公民館やご自宅にて嶋田流そば打ちを広く伝授するとともに、8年前にも本会研修会の講師を務められております。

講座は、和室にて佐々木会長による開講のご挨拶の後に、嶋田氏によるパワーポイントを視聴しながら蕎麦打ちの手順を学びました。その後クッキングルームに移動し実習となりました。



完成後は、再び和室に移動し試食会となりました。実習中では「こね（捏ね）」「そば切り」に苦勞しながらも「楽しい！」「そばの香りが何とも爽やか！」などの声をいただきました。また試食では、所長・副所長をはじめ皆さんから「実に美味しい！」、また、会員の皆さんから「参加して良かった。」との喜びの言葉をいただきました。試食会後の閉講式では、嶋田氏へ谷川退公連副会長より謝辞が述べられるとともに、参会者から大きな拍手が送られ和やかに研修会を終えることができました。来年度も工夫を凝らした研修会を実施いたしますので、多くの皆さんの参加をお待ちしております。

落語鑑賞教室（国立演芸場寄席）

令和7年2月8日（土）、紀尾井ホールで落語鑑賞教室を行いました。落語を愛する人々が集まり、楽しいひとときを過ごしました。

移動中にはホテニューオータニなど、東京の美しい景色を楽しむことができました。



おなかを抱えて笑いました。

参加者からは、幹事への感謝の言葉や鑑賞教室に関する感想が多く寄せられました。

◎幹事の皆様、募集や集計、チケット手配に感謝します。

◎落語鑑賞教室は私の生きがいとなっています。今後ともよろしく願いいたします。

◎久しぶりに外出することができました。都心に行く機会をいただき、ありがとうございました。

◎鑑賞教室の後の懇親会も楽しみにしています。

◎準備等、たいへんだと思いますが、ぜひ次年度も続けてください。



皆で、ハイチーズ！

新入会員を紹介します

☆以下のインタビュー項目に答えてもらいました。

(1) 最終勤務校 (2) 退職した時の気持ちは? (3) 現在は何をしていますか? (4) 今後の抱負

戸村 達男 (とむら たつお)



- (1) 所沢市立所沢小学校
- (2) マラソンのゴール付近で「あとひと踏ん張り」と思っていたところに突然「ゴールは延長されました」との知らせ。しかも「走り続けますか?やめますか?」「走り続けるとしたら、どのポジションで?」と立て続けに選択を迫られ、あたふたし、困惑したまま退職を迎えたなあ、という感じでした。
- (3) 所沢市立南小学校長
- (4) 与えられた職責を精一杯! 今後のご指導よろしくお願いいたします。

長谷川 陽子 (はせがわ ようこ)



- (1) 所沢市立南小学校
- (2) 多くの方に支えられ39年間(24年間の中学校理科教諭、15年間の管理職等)を終えることができました。感謝の気持ちでいっぱいでした。ありがとうございました。そして、令和7年3月31日24時、心から「ホッ」としました。
- (3) 所沢市教育委員会 学校教育課 特別支援教育アドバイザー
- (4) 今までと違う立場で、子どもたちが安心して過ごせる心の居場所づくりにつながることを続けていきます。

7年度の主要な行事予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

行事名	期日	会場等
研修親睦旅行 (退公連共催)	R7.6.3~4	箱根方面
歌舞伎鑑賞教室 (退公連共催)	R7.7.19	ティアラこうとう
トコロんのびのび塾	R7.夏休み期間	学校教育課事業へ協力
「私も元気です展」 (退公連共催)	R7.9.28~30	所沢市役所・市民ギャラリー
日帰りバス旅行 (退公連共催)	R7.10.10	方面未定
所沢市教育推進研究協議会	R7.11.7	たつみそば
受章・長寿祝賀会併せて忘年会	R7.12.13	所沢パークホテル
会員研修会	R8.1.21	所沢市立教育センター
落語鑑賞教室 (退公連共催)	R8	期日・会場未定

入間地区退職校長会総会



所沢市退職校長会は、8年ぶりに入間地区の退職校長会の総会を開催しました。佐々木正憲前会長と鈴木良明会長が中心となり、準備を進めてきました。

前日の会場設営や案内、タイムスケジュールの確認、受付業務、来賓の接待、会計、駐車場の整理、議長・書記の選定、指揮・伴奏、後片付けなど、各役割をしっかりと分担しました。

総会では、すべての議案が承認され、比留間前会長から吉武新会長へと円滑に引き継がれ、無事に終了しました。

理事の皆様の温かいご支援とご協力に心から感謝いたします。

【編集委員】 (委員長) 丸山昇 (委員) 鈴木良明、内野正行、齋藤敏男、米澤三八子
◎寄稿やご意見、ご要望がある場合は、編集委員までご連絡ください。